

授業および教育環境等に関する学生アンケート実施報告

平成 29 年 9 月

東北大学大学院文学研究科
学務教育室教育改善担当

本報告は、平成 28 年度に学務教育室の教育改善担当において学生を対象に実施した「授業評価アンケート」および「教育環境評価アンケート」の結果をまとめたものである。文学部・文学研究科において「授業評価アンケート」が開始されたのは、平成 10 年度の後期、「教育環境評価アンケート」が開始されたのは平成 15 年度の後期からである。それ以降、学生の意見を授業および教育環境の改善により役立つように、質問項目を段階的にブラッシュアップさせながら今日に至っている。

「授業評価アンケート」の結果は各教員に授業毎に提示され、教員から必要に応じて教育改善担当にフィードバックをいただくことになっているが、本報告では文学部・文学研究科全体に関わる主要な質問項目に絞って、結果をお示ししたい。また「教育環境評価アンケート」の結果については、主要な質問項目の結果に加えて自由記述欄の記述（同内容のものを 1 つの記述としてまとめるなど、内容に若干の整理を施した）についても提示したい。これらのデータは、文学部・文学研究科の今後の方向性を考える上で、貴重な資料として扱われるべきものである。

なお、アンケート内容、実施方法等については、われわれが見逃している問題点が少なからずあるのではなかろうか。忌憚のないご意見をいただければ幸いである。

回答を寄せていただいた、学部生・院生諸君、ご協力、ご相談に乗っていただいた米屋功貴・教務係長をはじめとする教務系の事務職員の皆様、阿部恒之・前学務教育室長、阿部宏・前教育改善担当、三浦秀一・現学務教育室長に感謝申し上げます。

2017 年 9 月 29 日

東北大学大学院文学研究科
平成 29 年度学務教育室教育改善担当
永井 彰
土屋育子

【総評】

「授業評価アンケート」からは、「授業への出席」80%以上の回答が、学部・講義で95.6%、学部・演習で96.1%、大学院・講義で96.7%、大学院・演習で96.9%であり、また「授業への総合判断」の「非常に良い」「良い」の合計が、学部・講義で89.6%、学部・演習で94.4%、大学院・講義で96.6%、大学院・演習で96.6%であるなど、学部・大学院ともに各授業が円滑に行われており、学生の満足度も高いことがうかがわれた。

学生からの声を適切に吸い上げるために、今後ともアンケート内容の検討等は引き続き必要であり、また各教員レベルで授業改善の努力も不断に必要であるが、改善を要する大きな点は当面ないように思われる。

「教育環境評価アンケート」からは、「学生生活全般」に関する満足度について「満足」「ほぼ満足」の合計が83.3%であり、学生の多くが文学部・文学研究科での生活全般に満足している傾向が見てとれる。しかしながら、検討を要する点もいくつか存在する。主なものを以下に挙げる。

・「履修科目の決定や学生生活」に当たって、「各種ガイダンスやオリエンテーション」が「役だった」と「まあ役だった」の合計で66.4%、7割弱が肯定的な評価をしているが、昨年度の数字からやや低くなった。昨年度のアンケート実施報告でも指摘がなされ、改善が試みられているところであるが、今後も改善の検討を継続的に進めていく必要があるだろう。他方、「『学生便覧』や『講義概要』による情報」について「役だった」と「まあ役だった」が84.4%であり、特に学部生のみでは91.6%であった。学生自身がこれらの資料を積極的に活用しており、円滑に機能していることが窺える。しかし自由記述欄では、「WEB上の便覧が見にくいので、研究室単位で配布してほしい」「一部わかりにくい説明がある」などの意見が寄せられた。

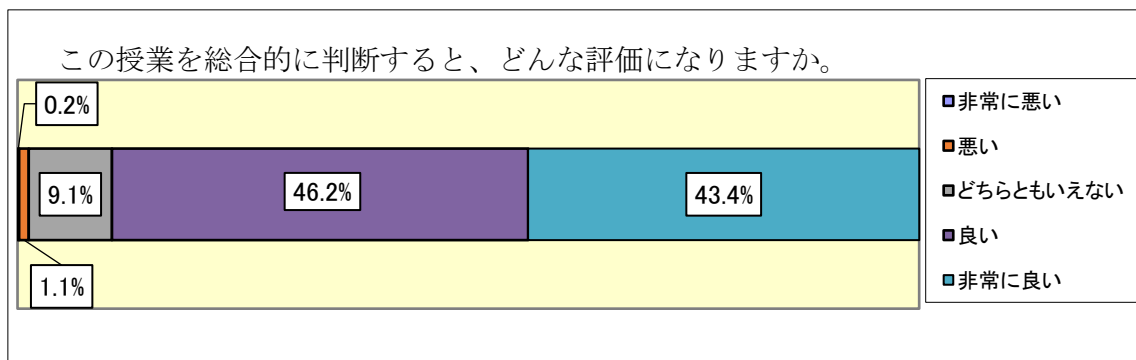
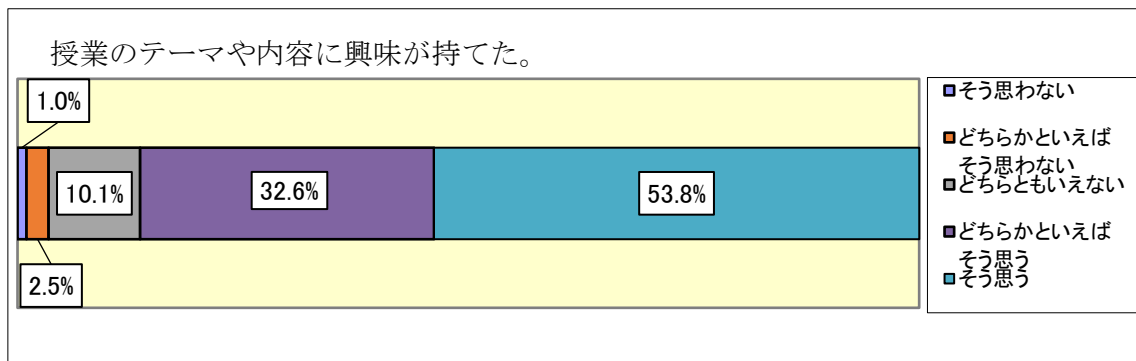
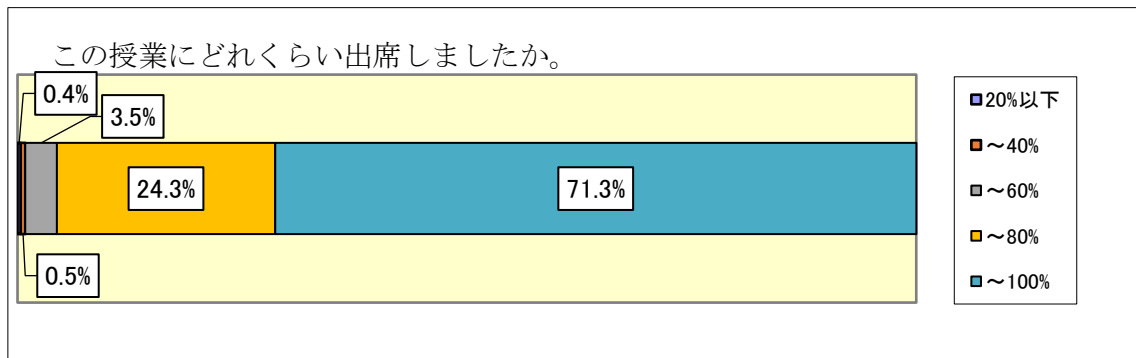
・「就職講座、公務員講座、教員養成講座」に対して、「満足」「まあ満足」の合計が32.6%に止まっている。ただ、「わからない」と回答した37.7%を除く約6割は参加経験ありと考えれば、およそ半数がおおむね満足しているということになるであろう。自由記述欄では、「卒業生のお話を聞くことができてよかった」という肯定的な感想も寄せられている。したがって、今後各種講座への参加をさらに促し、学生に役立ててもらふことが必要であろう。

・その他、「冬のエアコン温度の低さ」、「インターネット上での単位に関する

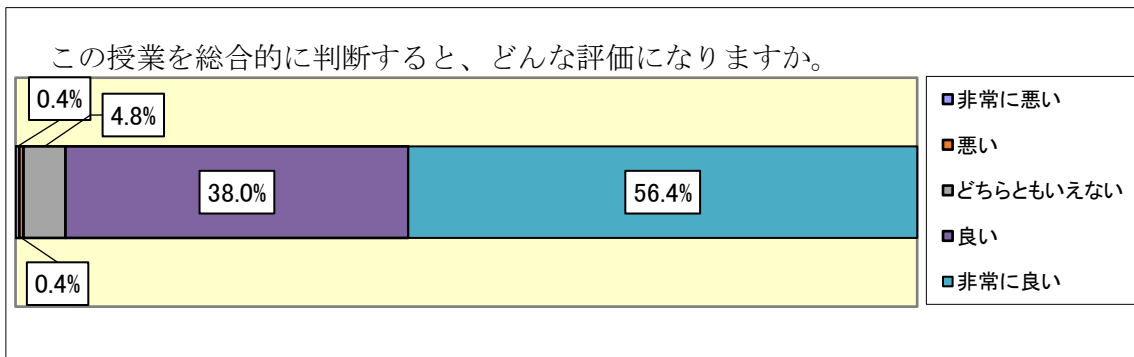
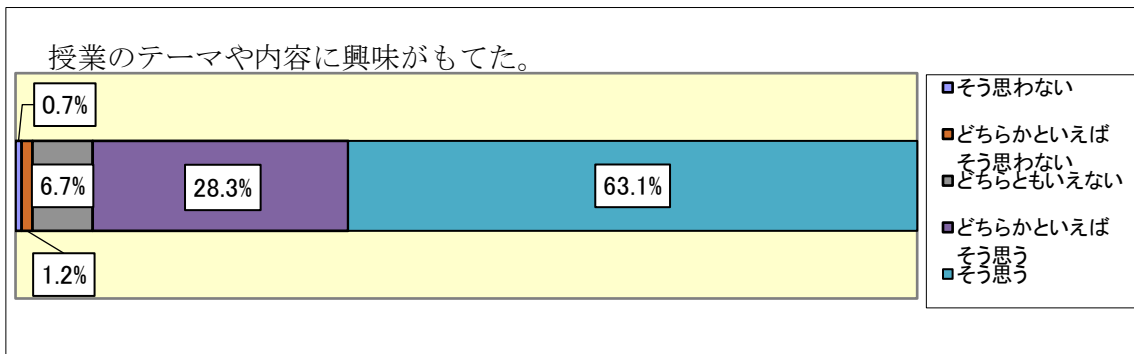
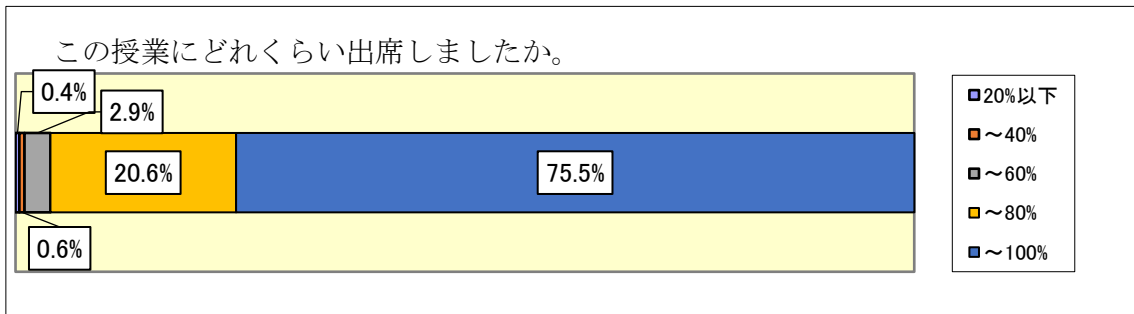
情報の明確化」、「教室の視聴覚設備不具合の改善」、「ATMの設置」などについて、複数名からの要望がある。

授業評価アンケート

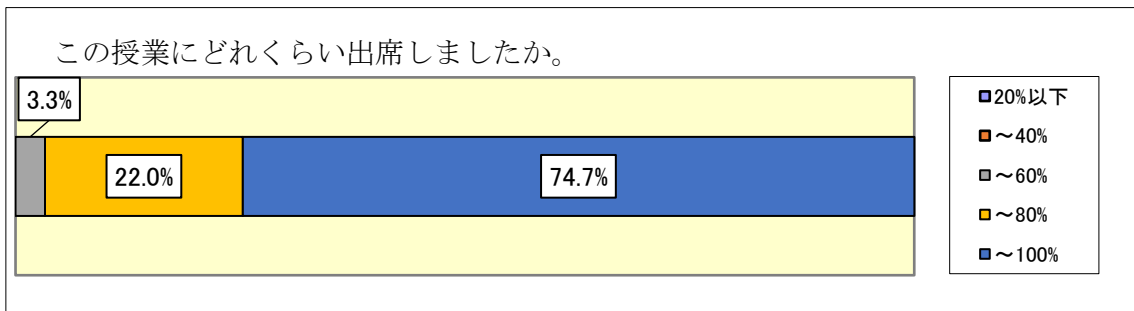
学部・講義

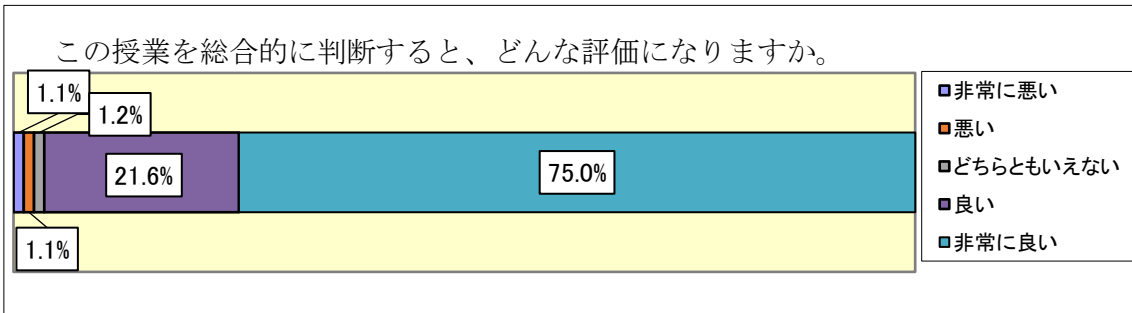
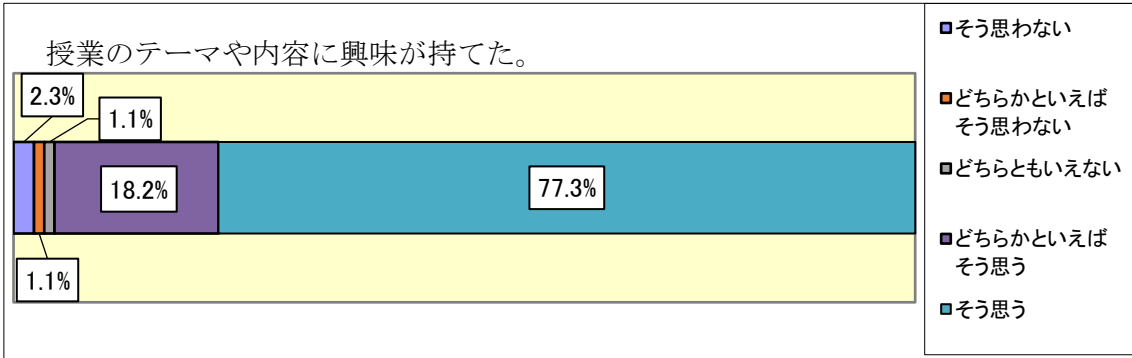


学部・演習

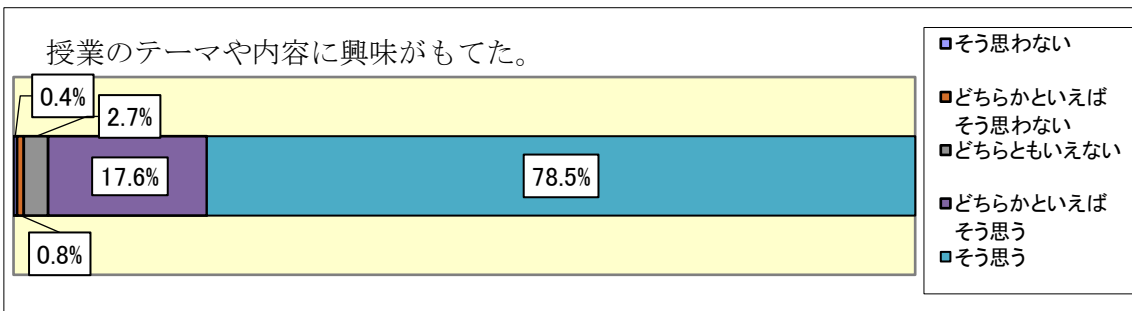
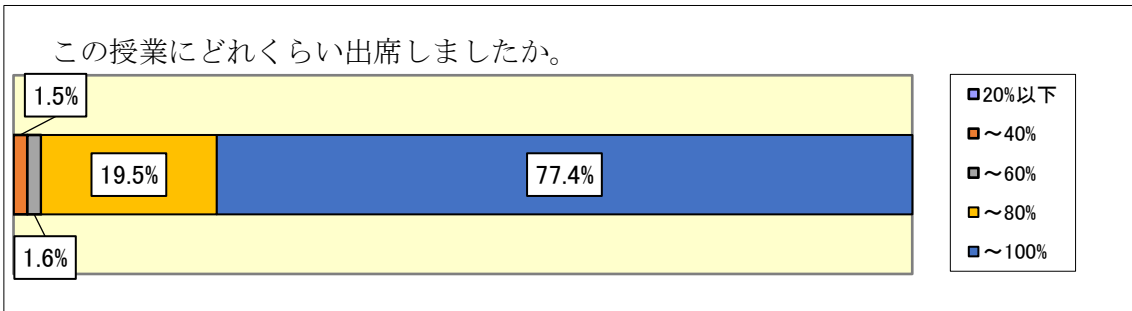


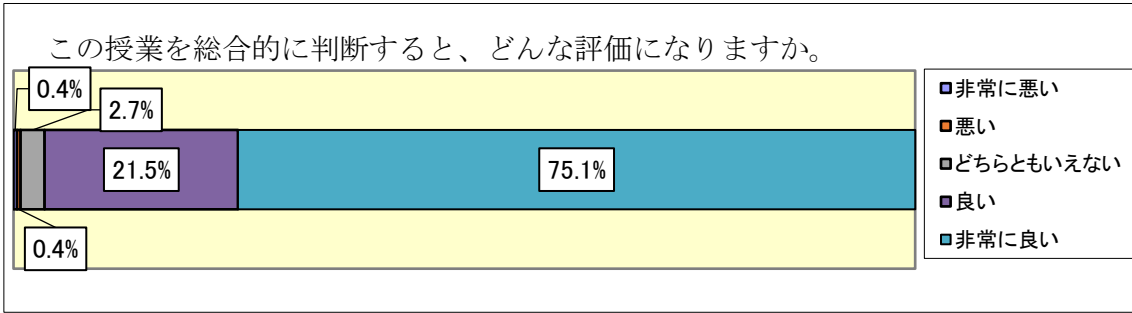
大学院・講義



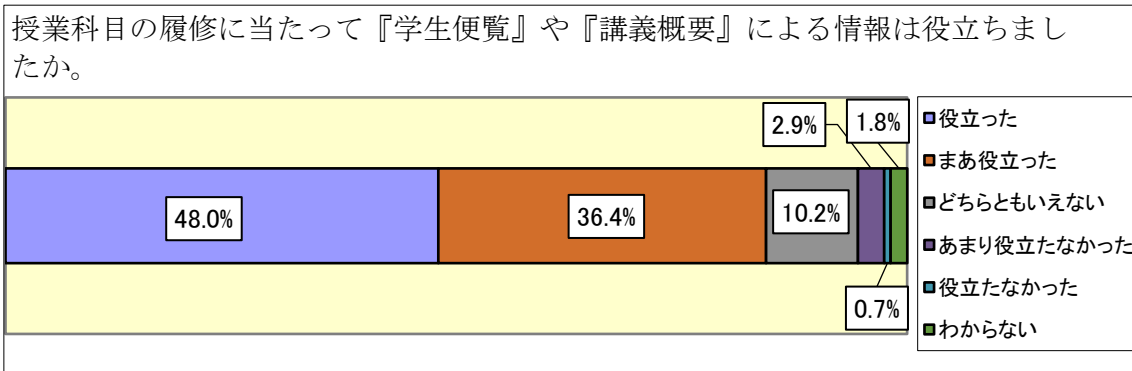
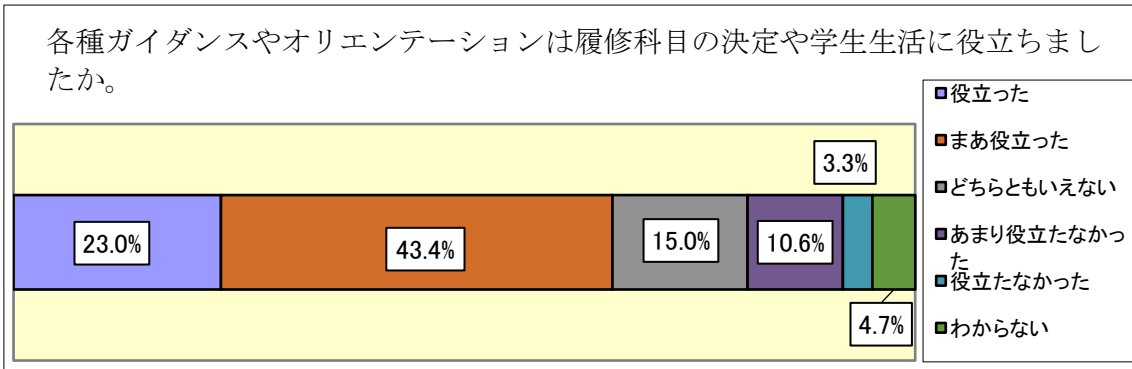


大学院・演習

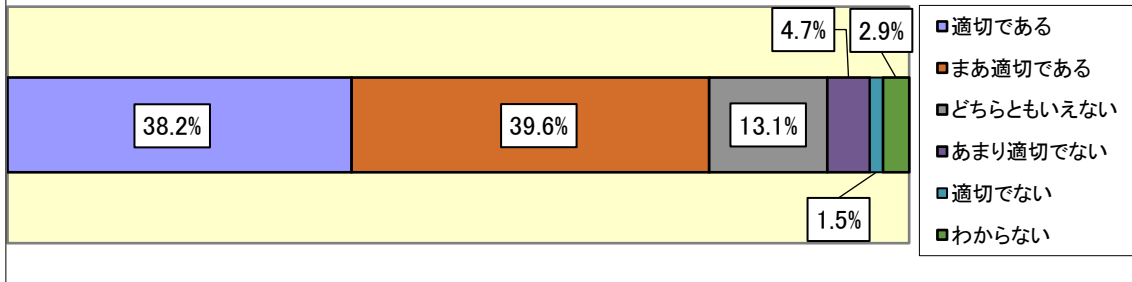




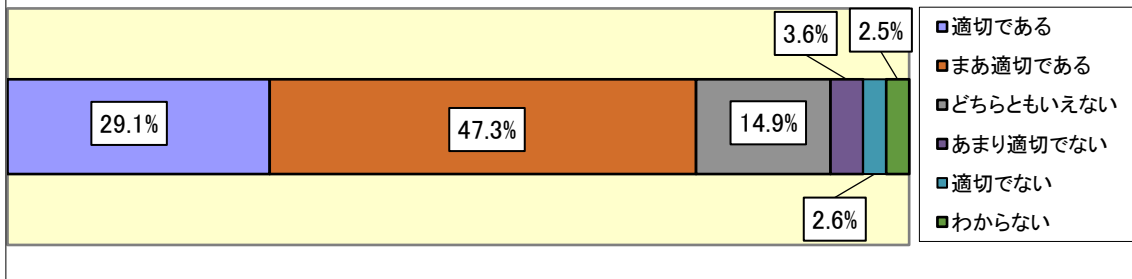
教育環境評価アンケート



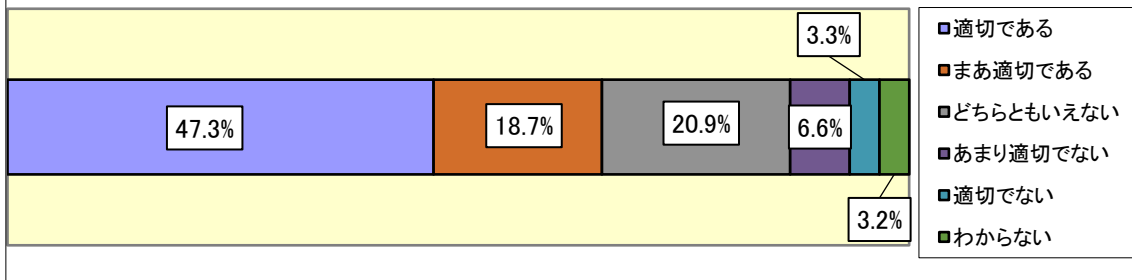
ふだんの学習相談や助言を含め、教員による履修指導は適切ですか。



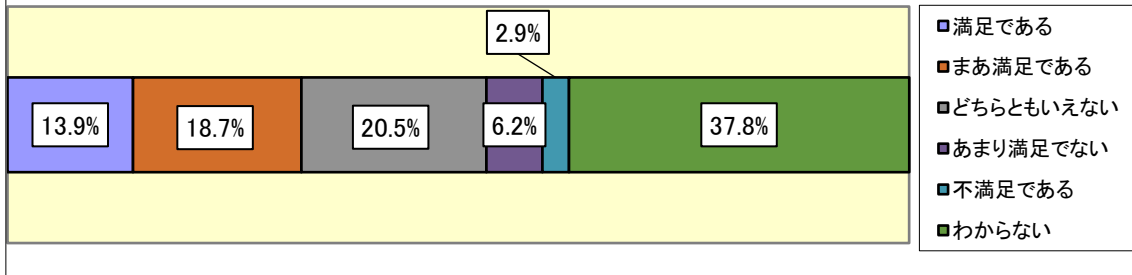
現在のカリキュラム（履修科目の構成）について、どう感じていますか。

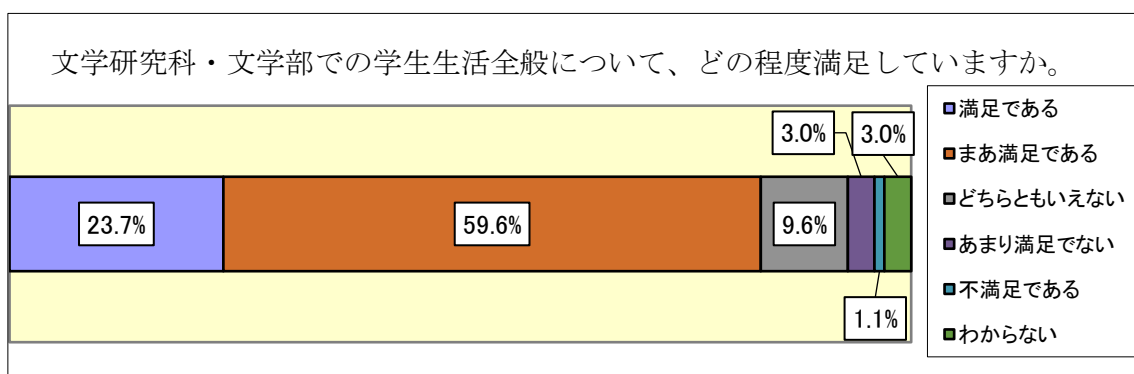
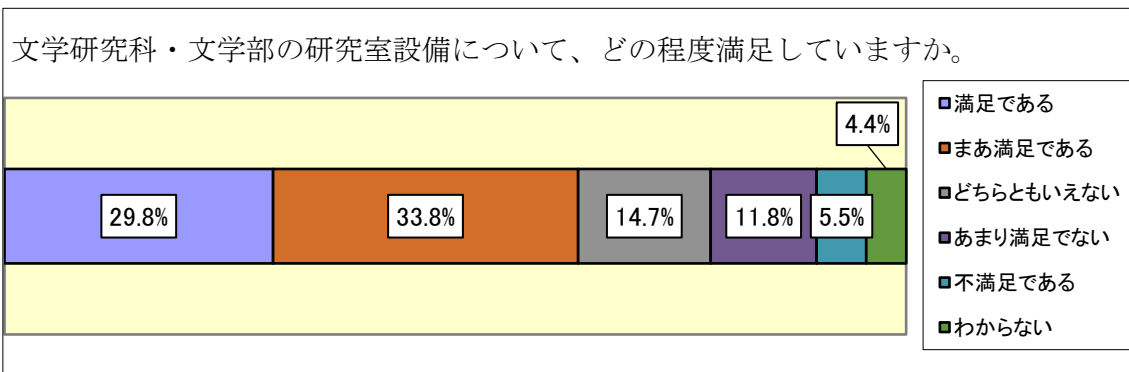


【大学院生のみ】論文指導のあり方について、どう感じていますか。



授業以外の講座（就職講座、公務員講座、教員養成講座）等について、どのように感じていますか。





自由記述欄

◎授業の履修、単位の取得について

- 1) 教職関係と学芸員関係の単位について、文学部の単位として認められるかわかりにくい。(B 3・女)(B 4・男)
- 2) 学芸員資格のための授業を、通常の授業期間に行わないでほしい。(B 3)
- 3) 専門と全学教育の教職科目が重ならないようにしてほしい。また、教職の教科に関する科目の授業と、その他の授業ができるだけ重ならないようにしてほしい。(B 2・女)
- 4) 学期途中で留学から帰国した際でも、事前に履修登録をしたり、担当教員と相談したりするなどにして、単位取得ができるようにしてほしい(B 4・女)
- 5) 卒業に必要な単位を取れているか、簡単にわかるようにしてほしい。(B 4・男)(B 4・女)

- 6) 集中講義の申込方法がわかりづらい。日程の通知が少し早いと助かる。(B 3・女)
- 7) 集中講義の数を増やしてほしい。(D 1・男)(D 1・女)
- 8) 通常期の他専修の講義は履修しやすいのに対し、他専修の集中講義は通常の時間割被りで履修できないことが多々あると感じる。可能であれば、隣接分野だけでも受講しやすいスケジュールにしてほしい。(B 3・女)

◎講座・ガイダンス等について

- 1) 文学部OBの方の講演はこれからも機会がどんどんあると有難い。関心のある業界の方とつながりを持つきっかけになった。(B 4・女)
- 2) 11月に行われた学部3年生向けの卒論ガイダンスは、今後取り組むべき事を考えるきっかけになって有益だった。学生相談所の方の講話も含め、卒論作成に取り組む今後の学生生活を展望する良い機会となるので、今後もこのような企画を催すべきである。(B 3・男)

◎窓口・シラバス・学生便覧について

- 1) 事務窓口の方々の丁寧な対応に、いつも感謝している。(B 4・男)
- 2) 窓口時間の延長を希望。(B 3・女)(B 4・男)(D 2・男)
- 3) 窓口対応について、他の学部との情報が共有されているとよい。(B 3)
- 4) 休講情報や教職関連の教務関連の情報はインターネットやメールを活用してほしい。(B 4・女)(B 4・男)
- 5) 学務情報システムとの連携をしてほしい。(B 3・男)
- 6) 全学教育と専門教育で日程調整にずれがあるので、混乱しないように改善してほしい。(B 2・女)
- 7) 学生便覧で大学院の専門科目の単位認定に関する記述が曖昧で、他専攻の科目は単位にならないのかと誤解してしまった。もっと明確に規定を示してほしい。(M 1・男)
- 8) シラバスは紙で配布するか、少なくとも研究室に1冊でも置いてほしい。願書も教務係で配布してほしい。(B 3・女)(B 4・女)(M 2・女)(B 4・男)
- 9) 今年度からシラバスで、全15回の講義で毎回何をするのか記載されるようになったので、以前よりも自分の興味のある講義を選択し易くなった。(B

3・男)

10) 大学院試験願書を、ダウンロードだけにするとネット環境がない人は困ると思うので、教務での配布も行ってほしい。

◎その他（文学部に関係すると思われるもの）

1) 視聴覚教室等のプロジェクターの調子が悪く、改善を希望。(B2・女)(B3・男)(B4・男)(M1・男)(D2・男)

2) エアコンの不調が見られる。(B3・男)(B4・男)(B4・女)(B4・男)

3) 研究室のW i f i 環境が悪い。(B3・女)(B2・男)

4) 文学部棟内にも飲み物などを購入できる設備があるとさらに利便性が向上するのではないか。(B2・女)(B3・男)